令和６年度　第２回小糸・清和地区公民館運営審議会　会議録

1　会議名称　令和６年度第２回小糸・清和地区公民館運営審議会

2　開催日時　　令和６年９月４日（水）
　　１４時５０分から１６時２０分
3　開催会場　　清和地域拠点複合施設　会議室１

4　出席委員　　【小糸地区】藤村委員長、小川委員、白井委員、末安委員
　　【清和地区】佐藤副委員長、伊藤委員、佐藤委員
　事務局　　【小糸公民館】大野館長、伊藤副館長、寺本公民館主事、隅越主任主事
　　【清和公民館】成川館長、安部副館長、唐鎌公民館主事、濱田主任主事、
　　小間社会教育指導員

5　欠席者　　【清和地区】奥村委員

6　傍聴人　　なし

7　会議概要　　下記のとおり

１．開会（進行　伊藤副館長）

２．あいさつ　（藤村委員長）

３．末安委員紹介

４．議事

（１）令和６年度上半期事業について
【藤村委員長】
議事に移らせていただきます。令和６年度上半期事業について説明をお願いします。
【小糸公民館】
・資料１頁から２頁に沿って、寺本公民館主事、隅越主任主事、伊藤副館長より上半期事業について説明。
【清和公民館】
・資料３頁から４頁に沿って、安部副館長、唐鎌公民館主事より上半期事業について説明。
【藤村委員長】
ありがとうございました。今、両公民館から上半期事業の説明がありました。ここは質問に

限って受けたいと思います。どなたかいらっしゃいますか？
ないようですので、私から一つお伺いします。熱中症予防として外での事業は内容を変えて実施されたという点、適切な判断だったと考えております。前回の会議の際、空調の調子が悪く、修理ができなければ、夏場の部屋の貸し出しが一部出来なくなると聞いていますが、その後の現状について伺います。
【小糸公民館】
小糸公民館のエアコンの調子は、年度当初から良い状況にありません。特に 1 番広い 2 階の和室は現在も使えない状況です。別の部屋に振替えして対応していたところ、7 月の上旬には、一番広い講堂のエアコンも使えなくなってしまいました。暑さで事故が起ってはいけませんので、公民館の貸し出しについては、3 分の 2 以上は貸し出せないという状況になってしまいました。公運審委員さんをはじめ、地域の皆さんからの強い要望もあり、最終的には、講堂のエアコンの修理を急いで行うことができました。 ファンベルトの取り替えとエアコンのクリーニングをしていただいて、1 か月かからずして、元の形でエアコンが使えるようになっております。
ただ、業者によると、今後、壊れてしまうと替えの部品等はないので、1 番広い部屋の講堂が、 特に夏場使えなくなる状況にあるようです。利用者の方々にも、大切に使っていきましょうと説明しております。また、2 階の和室については、まだ修繕費の見積もりを取っている段階で、最終的に予算がつくかどうかは、はっきりしない状況ですが、早く使えるように対応を図ります。以上です。
【藤村委員長】
厳しいとは思いますけども、引き続きご尽力いただきたいと思います。
では、他になければ、議題（２）今後の事業について事務局説明お願いします。
【小糸公民館】
・資料 5 頁から 7 頁に沿って、伊藤副館長・隅越主任主事・寺本公民館主事、文化祭について説明。
【清和公民館】
・当日配付資料 1 頁から 2 頁に沿って、安部副館長・唐鎌公民館主事、文化祭について説明。
【小糸公民館】
・資料 8 頁に沿って、寺本公民館主事、令和 7 年「２０歳のつどい」について説明。
【藤村委員長】
ありがとうございました。では、全体的なことで何かご質問ありますか。
ないようですので、小川さんからご意見・感想などお願いします。
【小川委員】
上半期の事業についてですが、「子どもキャンプ」に大勢の子どもたちが参加したということで、ちょうど出発の日に公民館に行ったら、子どもたちがニコニコしながら歩いているので「どこに行くの？」と聞いたら、「キャンプだよ」と返事がありました。てっきりキャンプは三島地区の方に行くと思っていたら、資料をみると場所が千葉市にかわっていたの

ですね。その後、学童保育に来ているキャンプに参加した子どもたちに聞いても「すごく楽しかったよ」という返事と表情から子どもたちがすごく喜んで、楽しめていたのが伝わってきました。
それから2ページから、「いきいき学級」ですが、すごく実態に即した内容ですね。フレイルってよく聞くけど、フレイルっていったい何かとか、フレイル予防にどんなことをしたらいいのか、栄養士さんや保健師さんのお話を聞いてすごく勉強になりました。
それから清和の方ですけれども、地元の小麦粉を使ったうどん打ち体験は、小麦粉を買ってきて「はい作りましょう」ではなく、地元で育った食材を使う調理の工夫がいいなと思いました。それから、質問ですが、4ページの、「あいあいカフェ」とはどんな取り組みなのか教えてください。
それと、文化祭のことですけども、先日、小糸地区文化祭第2回実行委員会があった際に、提案の仕方と、昨年度の反省を生かしてこう修正しますという内容だったのが、すごくいいなと思いました。例えば時間を見直しし、二日目の終わった後に反省会までするとか。それから第2回実行委員会後に、初めて部門毎に別れて話し合いがありました。今まではそれがなくて、例えば、展示部門では公民館の講義室のパネルを立てる時にすごく苦労するのですが、そのような話をする場ができてよかったなと思いました。それから、特別企画の中で中学生9名が主体となってカフェを企画運営し、20歳の集いの実行委員がそれをサポートするという活動を聞き、繋がりがあるのはとても大事なことだと思います。また、文化祭では食べるところがなくて、雨が降った時なんかは大変だったのですけど、こういうカフェがあるとコーヒーとかいただけていいなと思いました。また、20歳の集いの方は周東中になってから初めての取り組みということで公民館が交互で担当するということで、合理的でいいなと思いました。以上です。
【藤村委員長】
ありがとうございました。では、質問のあった「あいあいカフェ」についてお願いいたします。
【清和公民館】
「あいあいカフェ」は、君津中央公民館の「あいあいカフェ」の出張出店になります。中央公民館でおおむね毎週木曜日に ロビーにて地域の福祉作業所のパンの販売を中心とした出店をしているものになります。そこにボランティアの方も加わって、ワンコインで飲み放題のカフェコーナーみたいなのをボランティアの方が運営しているものです。「助け合い・触れ合い」がキーワードになっており、障害者の理解・調整を進めていくための事業になっています。それを、清和公民館に来てやっていただきましたところ、30名から40名ぐらいのお客様に来ていただき、大変賑わいました。その中で、私たちもこういった活動ができるといいよね、とか普段できない仕事場での話ができていたのが印象的でした。以上です。
【白井委員】
小川委員の意見を聞きながらそうだね、そうだねとうなずきながら聞いていました。
青少年相談員の子どもキャンプの場所が変わったのも知らなかったので、そういう屋内で

できる施設があるということを教えてもらいました。それから、地域子育て支援拠点事業「夏休み子供ゲーム大会」ですが、うちの孫も参加させていただきました。毎年、色々なゲームを考えていただいて、子どもたちが楽しみながら部屋の中を動き回っている姿がなんとも微笑ましい。孫も大きいお兄ちゃんお姉ちゃんたちがサポートしてくれるのが、嬉しいようで、帰ってきても興奮しておりました。
それから、清和公民館の「大人の学校」は面白い企画と思いました。こちらの方も多くの参加が得られているようで世代間の交流を図るということはとてもいい取り組みだなと思いました。
あと、小川委員からも質問のあった「あいあいカフェ」のお話を聞いてみると、福祉作業所の方とボランティアの方で実施していることですが、こういう取り組みを通じて隔たりがなくなれば、とてもいい取り組みだと思いました。
文化祭の方では、今年は事務局の公民館職員の皆さんがとても見やすい説明資料を作ってくださり、実行委員にわかりやすく説明していただいたのが 1 番良かったなと思っています。これからの文化祭がとても楽しみです。特別企画の中で、20 歳の集いの実行委員の方が文化祭カフェを運営してくださるということで、それも今からとても楽しみにしています。 それから、お化け屋敷と宝探しというのがあったのですが、お化け屋敷は 1 回目で宝探しが 2 回目になっていて、これは両方に参加することは可能でしょうか。
【小糸公民館】
何回でも可能です。昨年度も延べ 400 人くらい参加がありました。
【白井委員】
いつも行列ができているのをみているので、子どもたちはとても楽しみにしているのだなと思います。また宝探しというのが増えたので、ますます待ち時間が増えそうだなと思いました。
私は去年、「20 歳の集い」に出席させていただき、その中で、２０歳のみなさんが実行委員として取り組んでいるのがとても素晴らしいなと思いました。また、しっかりした子どもたちの意見を聞いて、もう感動して私は帰りました。素晴らしい子どもたちが、今後も小糸・清和で活動していただけると思うと大変ありがたいなって思っております。以上です。
【藤村委員長】
では、末安委員お願いします。
【末安委員】
上半期の資料の説明を聞いて、充実しているという印象を受けました。いい取り組みですので、これからも続けてもらえるとよいと思います。
それから、ほかの委員からも話がでていますが、周東中の名前になって 6 年目を迎え、初めて 20 歳になる人たちを実行委員にし、そこに中学生の文化祭カフェに加えていこうっていう取り組みはとてもすごいなあと感じております。今回、中学生の参加については、色々ご相談を受けて小糸公民館の職員さんが、その子たち、そして保護者としっかりコンタクトを取りながら、数回の会議を重ねて当日を迎えるというのは頭の下がる思いです。

これからの地域を考えた時、若い子たちの経験が将来に大事になってくるのかなと思います。学校としてお手伝いできることだったら参加したいと考えおります。
【藤村委員長】
はい、ありがとうございます。では、佐藤委員。
【佐藤ますみ委員】
まず小糸公民館の上半期事業について、「子どもキャンプ」は、熱中症対策に対応したプログラムを用意されて安全にできたと思います。
子育て支援拠点事業のほうも、中学生３名が参加したというのを聞いて、これも小学生の時からの文化祭実行委員としてやってきて、中学生になってとても忙しい時期なのに、参加してくれたっていうことは素晴らしいことだと思います。また、参加者が年々増えていると聞き、最近では何事も減少していると聞くのですけども、増えているってことは大変素晴らしいです。
「いきいき学級」については、清和地区からの参加希望があったが、地区外のため参加できなった人がいたのは残念でした。今後は清和公民館との連携を視野に入れるとのことですので、よろしくお願いします。
清和公民館の事業は、「体験せいわ学」の参加者が増えているということでよかったと思います。これはNPO法人いきいき清和との共催事業で、安定した運営が行われており参加者の満足度も高かったということで、地域に関する情報発信を合わせて行っていくということを引き続きよろしくお願いいたします。
続いて、「じぶん時間を楽しむ講座」。米粉を使った料理ということで、秋元婦人会でもこちらの講師にお願いしたいという動きがあり、サークル化に協力したいと思いますので、よろしくお願いします。
それから、その他の「地域活性化センター事業の側面支援」の「SCP創り隊の活動支援」と「実感の循環学校」に私も参加させていただいています。今後もたくさん協力していきたいと思いますので、よろしくお願いします。
文化祭については、小糸公民館の子ども文化祭実行委員会というのは伝統ということですが13名の6年生が参加する。また、中学生の文化祭カフェ、中学生が9名ということで、これも小学生の時からこの文化祭実行委員会からの良い関係だと思います。これが地域の繋がりというか、小糸公民館の文化祭のテーマの「集う楽しみ、学ぶ喜び、つながる小糸」にピッタリだと思いました。
【藤村委員長】
ありがとうございます。では、伊藤委員。
【伊藤委員】
もうほとんどのご意見が出ていますが、特にこの「子どもキャンプ」については、今の時代、開催するのも大変だと思います。昔は雨と晴れ、それだけを心配していればよかったけど、今は暑さが心配。晴れればいいってもんじゃない。代替案の企画を考えたり大変な時代になったなという気がいたします。「子どもキャンプ」は、災害時に役に立つということで、防災講座みたいな形で、グランドで時期をずらして薪割り・火起こし・米を炊くと

いった体験を取り入れてもいってもいいのではないでしょうか。あくまでテントを張るキャンプにこだわる必要はないと思いますので、そういう観点からまた検討していただければと思います。私の住んでいる地域では、道路が一本寸断される土砂災害が出ると、孤立することもあります。そういう時のためにも子どもたちに防災講座のような体験をして、また、災害時には指導してもらえるような防災講座として企画していただければと思います。
あと、小糸公民館の「いきいき学級」の栄養・口腔・運動について。この内容は、やり方さえ分かれば一人でもなんとかできる。あとは社会参加につなげることが一番重要じゃないかと思います。ですから、高齢者の方がどんどん活躍できる場が増えてくれば、そういう人の参加をもっと促すような企画もして、高齢者が活躍できる場をもっと作っていただければと思います。
それから、清和公民館の課題解決事業。地域の課題を解決するために、みんなで参加して取り組むという動きにつながればすばらしい。地域課題を自分事として捉えて、みんなでできることを続けていきたいなと思います。地域活性化センターの側面支援は、側面だけじゃなくて、一生懸命ご協力いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
最後に、文化祭ですが、若い世代、現役世代の参加は難しい。今までは高齢世代が中心に動いてきたのが、高齢世代プラス小学生、中学生、高校生、まあ小糸は特に高校生もでられるということで、将来につながる公民館活動になるのではないかと思います。どんどん子どもたちと高齢者が一緒になって活動できる文化祭にしていただければと思います。
【藤村委員長】
では、佐藤委員お願いします。
【佐藤利則委員】
特に質問等はないのですが、清和公民館も小糸公民館も地域を超えた活動をされていて、地区外でも一緒に事業を進めようという考えを持っていて、いいと思います。また、「子どもキャンプ」は、今年から千葉市少年自然の家を利用したということで、熱中症の問題もあるのでこのような施設を使うのは良いと思います。
【藤村委員長】
最後に私の方で簡単に感想と意見を述べます。
どこ行っても人口減少・高齢化が課題となる中で、若手が色々実行委員とかやっていて、若い人を巻き込んでいけることで希望が見えると思いました。
あと質問ですが、「いきいき学級」について、参加対象地域が違うことで断った件がありました。これは地域優先など、何か意図があったのか質問です。それと先ほど出ました冷暖房の件を含めて、小糸公民館は老築化しています。そこで、考えられるのは、例えば放送設備やアスベストは大丈夫かなど、命に関わることもありますので、施設の対応について質問させて頂きます。
【小糸公民館】
では、質問の方から答えます。「いきいき学級」ですが、 この募集は小糸地区の世帯回覧しか回していません。どこで募集を目にしたか不明ですが、募集の前に清和在住の方から

参加希望のお電話がありました。募集締め切り前の段階でしたので、小糸地区で何人集まるか予測が立たず、原則小糸在住の方を優先させていただきたいと答えましたところ、わかりましたと話が終わりました。参加者募集締め切り後、実際、蓋を開けてみたら、定員まで集まらなかったので、来ていただければよかったなって思ったところです。今年の「いきいき学級」は、全10回のうち半分は公開講座のため、定員に余裕があれば好きな回に参加して頂いても良いと考えています。
施設についてのご意見に対してですが、今、全公民館がクーリングシェルターに指定されていますが、小糸公民館はロビーのエアコンが効かず、クーリングシェルターになり得ません。そこで、ロビーにレンタル式の冷房を設置できないものかと、来年度予算に計上したいと考えております。
それから、放送設備ですが、職員の方で点検し見直したところ、全館で放送が流せる状態になりました。防災はもちろん、今度の文化祭も館内放送で開会あいさつができるようになりました。あと、アスベストの方は施設管理者として検討していきたいと思っています。
【藤村委員長】
公運審委員の立場として言える場所ではしっかり応援していきたいと思っていますので、ご対応よろしくお願いいたします。
今回の報告では、公民館職員の皆さんが頑張っているというご意見が多かったように思います。では、この議題については終わります。
他にないようですので、以上で議長の務めを終わらせていただきます。
【事務局】
藤村委員長、ありがとうございました。それでは、次第のその他の方に移ります。

5.その他
（１）公運審連視察研修の報告
（２）事務連絡
第３回の公運審の日程は、１２月１７日（火）午後３時から会場は清和公民館です。
小糸地区の公運審委員に連絡です。地域づくり課より公民館再整備基本計画説明会を９月３０日（月）午後６時３０分小糸公民館で行います。地域住民向けの説明会を行う予定ですので、ご都合がつきましたらご出席ください。
では、以上を持ちまして第２回小糸・清和地区公民館運営審議会を閉会します。